

糖尿病性腎症重症化予防プログラム
事業評価のためのデータ作成ツール
手順書（サマリー）

平成 30 年 11 月

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証と

重症化予防のさらなる展開を目指した研究

研究代表 津下 一代

本サマリーは、平成 30 年度研究班に参加する自治体の皆さまに向け、「データ作成ツール」使用についての全体イメージをもっといただくための概要版になります。詳細版である手順書と合わせて使用いただけますと幸いに存じます。

1 データ作成ツールのインストール

(1) KDB 用 PC へのインストール



研究班からは、研究参加自治体ご担当者様宛に、CD-R にてツールを配布いたします。

KDB 用パソコンのデスクトップにインストールします。

(2) 研究用データ作成ツールの説明

国保保険者番号あるいは後期高齢
保険者番号を入力

(例) ○○市 (国保)

(例) ○○市 (後期)

現在のツールは、事業対象者に対して単年度の健診・レセプトデータを紐づけする形となっています。

2017年度の健診・レセプトデータの紐づけを実行する場合は、処理対象年度を「2017」とします。

1. 保険者保有情報取込	手入力準備いただいている excel シート (B-1~B-4) を取り込みます
2. KDB データ取込	「保健指導対象者一覧あるいは後期高齢者の健診結果一覧」: 健診検査値、年間医療費、介護状況、 「5年間の履歴」: 個人の過去5年間の疾患名、処方薬剤名 「人工透析者一覧」: 各年度の人工透析患者
3. 特定健診結果等情報取込	「FKAC163」: 健診の問診データ
4. 研究用データ作成	1~3で取り込んだデータを紐づけし、突合データ excel を作成します
「KDB」5年間の履歴対象者一覧作成	2に取り込む「5年間の履歴」は、事業対象者人数が多い場合に使うものです。対象者人数が少ない場合には使用しません



手順書 P39~50 参照

2 保険者保有情報ツール B-1（個人識別データ）の修正

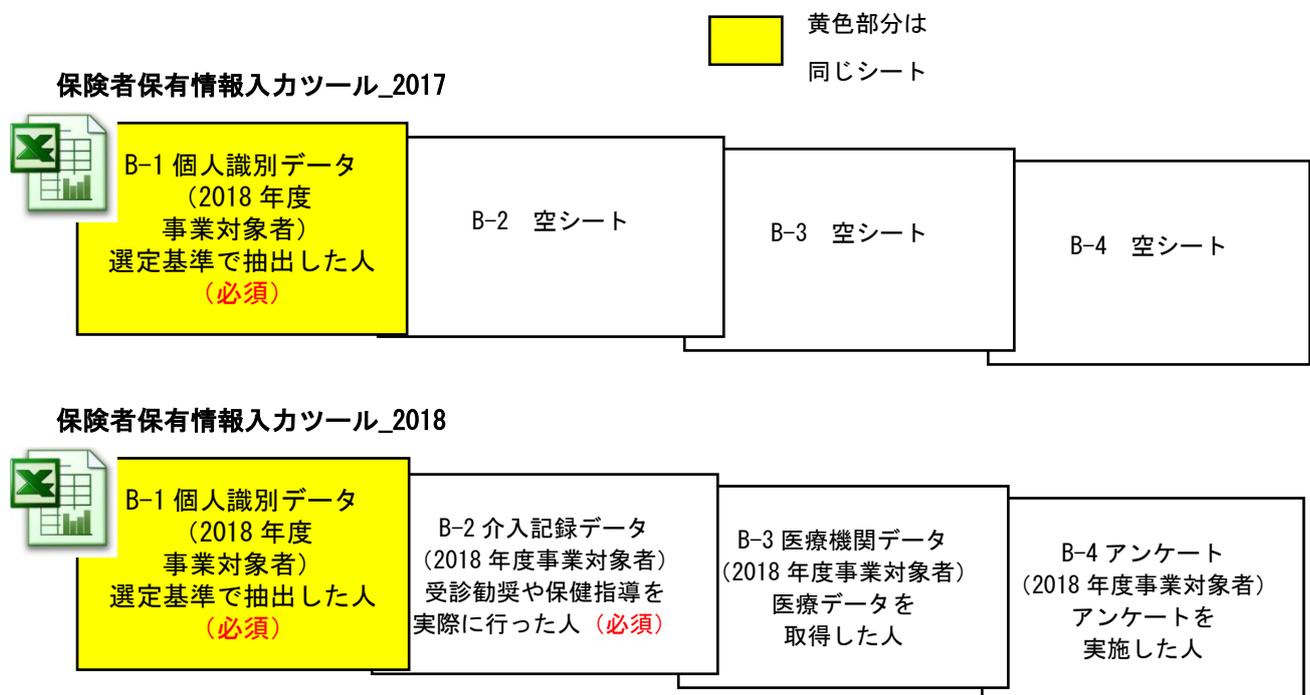
(1) 2017 年度保険者保有情報ツール（excel）の準備

- 8月30日付で配布いたしました「保険者保有情報ツール（excel）」につきまして、図1に示すとおり、B-1 個人識別データのみ入力された2017年度保険者保有情報ツール（excel）も準備していただく必要があります。

(理由)

2018年度対象者のベースラインデータとして2017年度健診・レセプトデータを取得するため

図2：2017～2018年度保険者保有情報入力ツールの準備



3 データ作成ツールを実行する前に準備するファイル

(1) データファイルの準備

研究用データ作成ツールを実行する際、年度ごとに事業対象者の健診・レセプトデータを紐づけるため、データファイルを年度ごとに整理しておくとう便利です。

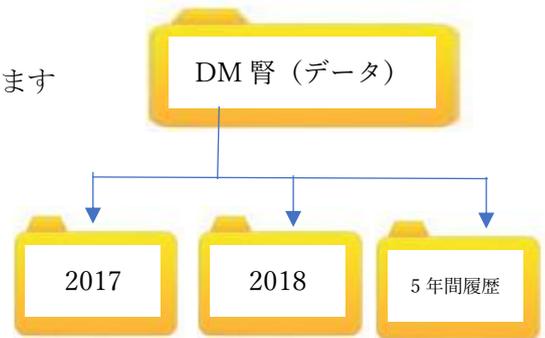
2018年度事業対象者のベースラインデータを取得するため、2017年度健診・レセプトデータの処理から必要になることをご了承ください。

(2) KDB デスクトップ画面に準備するフォルダー

1) デスクトップに「DM 腎 (データ)」フォルダーを作成します

2) フォルダー内に下記 5 つのフォルダーを作成します

- ・ 2017
- ・ 2018
- ・ 5年間履歴



3) 各フォルダー内に、データ作成ツール実行時に必要なデータを保存します

	2017	2018	5年間履歴
手入力	保険者保有情報入力ツール_2017	保険者保有情報入力ツール_2018	
KDB	介入支援対象者一覧_2017	介入支援対象者一覧_2018	5年間の履歴_1 5年間の履歴_2
	人工透析患者一覧_2017 (H29.6月~H30.5月分)	人工透析患者一覧_2018 (H30.6月~H30.8月分)	5年間の履歴_3 5年間の履歴_4 ・ ・ ・ B-1に登録した 人数分
特定健診結果等	FKAC163_2017	FKAC163_2018	

(3) 各帳票データの作成方法 ⇒手順書に従って各データを抽出、フォルダーに保存

保険者保有情報入力ツール	手順書 P2	5年間の履歴	手順書 P4~7
介入支援対象者一覧	手順書 P19~22	5年間の履歴 (一覧を作成する場合)	手順書 P8~18
人工透析患者一覧	手順書 P23~24		
FKAC163	手順書 P25~34		



手順書 P2~34 参照

4 データ作成ツールを実行する

(1) 処理年度ごとにツールを実行する

前頁の3で準備したデータを、処理年度ごとのツールに格納し、研究用データ excel を出力します。



- 処理年度を 2017 にする
- 1 保険者保有情報取込
「保険者保有情報入力ツール_2017 を格納」
- 2 KDBデータ取込
「介入対象者一覧_2017」
「人工透析患者一覧_2017」
「5年間の履歴（人数分）」 を格納
- 3 特定健診結果等情報取込
「FKAC163_2017」を格納
- 4 研究用データ作成
出力した研究用データ excel をファイル名変更せずそのまま保存



- 処理年度を 2018 にする
- 1 保険者保有情報取込
「保険者保有情報入力ツール_2018 を格納」
- 2 KDBデータ取込
「介入対象者一覧_2018」
「人工透析患者一覧_2018」
「5年間の履歴（人数分）」 を格納
- 3 特定健診結果等情報取込
「FKAC163_2018」を格納
- 4 研究用データ作成
出力した研究用データ excel をファイル名変更せずそのまま保存



手順書 P39～50 参照

5 研究用データを提出する

(1) 研究用データ（2017～2018）を研究班およびヘルプデスクに提出する

- ・ 4 の処理で出力された研究用データ（excel）2つをメールに添付し、研究班およびみずほ情報総研 研究用データ作成ツール ヘルプデスクの両方に提出してください。

提出期限：平成 30 年 12 月 7 日（金）

提出先： 研究班事務局

E-mail：jushoka@grp.ahv.pref.aichi.jp

みずほ情報総研 研究用データ作成ツール ヘルプデスク

E-mail：dm_mhir@mizuho-ir.co.jp

提出するもの：①研究用データ 2017

②研究用データ 2018

ファイル名変更不要

※保険者名称、処理対象年度、実行日時が自動でつけられているので、変更せずにご提出ください

（例）〇〇市（国保）_2017年度_20180809090236



手順書 P51 参照

6 今後の予定

研究用データの作成にご協力賜り、本当にありがとうございました。

研究班においては、今後、事業対象者の経年データを突合の上、プログラム効果分析を行ってまいります。

平成 31 年 3 月末に配布いたします、研究報告書にて、分析結果をご報告させていただきます。各自治体における経年データの分析、集計データの出力、レポート出力については、次年度の課題としております。自治体の皆さまが本ツールを活用し、対象者の追跡あるいは経年変化の分析が簡便に行えるよう開発を進めてまいります。引き続きのご協力をお願いしますよう、何卒よろしく願いいたします。

なお、次回のデータ作成ツール実行によるデータ提出は、平成 31 年 7 月末頃を予定しております。